

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
臨床実習1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・昼間部	2年	1・2期	渡邊 靖弘			○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床実習			実技	1	23	
科目概要							
附属施術所において教員とともに患者と接し、教員が行う医療面接、四診法・身体診察などの情報収集や、取穴・刺鍼・施灸といった行為を見学する。座学・実技授業で今まで学んだ知識と関わりあるものを想起して、まとめる。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	鍼灸師として基本的な施術が出来るようになるために、臨床現場を見学し、職業理解をするとともに、それに必要な知識、態度、技能を身に付ける。						
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1.鍼灸師の仕事内容を列挙できる。 2.指導教員の患者の接し方を模倣できる。 3.見学内容に関連する科目を調べることができる。						
履修に必要な予備知識や技能							
東洋医学概論、解剖学、経絡経穴概論							
教科書・参考書							
適宜紹介							
受講上の注意							
1.学校所定の服装(白衣)で、清潔なものを着用している。 2.施術者に相応しい髪型・髪色をしている。 3.爪は短く、汚れがないようにしている。 4.身体は清潔にして不快感を与えないように配慮できる。 5.衛生上、手指のアクセサリは原則としてはずし、華美な装飾は避ける。 6.患者さんに対し、失礼がないよう、常に丁寧な言葉遣いで接する。 7.患者さんへの気遣いを適切に行い誠実な態度を保つ。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
			100				100

令和4年度 授業計画書(シラバス)

評価割合(%)	<p>出席した回のレポート提出を持って単位を与える。 出席した際は必ず提出するように。 内容は以下の通り。</p> <p>①将来のビジョン・ミッション、身だしなみ、個人情報の取り扱い ②経絡経穴概論・東洋医学概論・解剖学・その他の科目、治療との関連性、気づき、学び ③次回までに勉強しておきたい事・治療以外の工夫</p>		
回数	授業内容	教科書	教材・持ち物
第1回	<p>毎回附属施設にて臨床見学を行います。 以下の様な内容を教員と共に実施します。</p>		筆記用具
第2回	<p>【衛生管理】 ベッド、イス、盤台、荷物入れ、胸枕、頭枕、足枕、壁(手の触れそうな所)</p>		筆記用具
第3回	<p>タブレット、パルス台、パルス、エアコンスイッチ、電気スイッチ、ハンガー ハンガーラック、ウォーターサーバー、受付パソコン周囲、受付デスク</p>		筆記用具
第4回	<p>待合室ソファ、イス、机、鍼棚、灸ボックス、タオル・患者着棚 教科書棚、殺菌線保管庫、ドアノブ入口、ドアノブ裏口 パソコン・タブレット、下駄箱患者用・学生用</p>		筆記用具
第5回	<p>【治療前】 ・患者さんを案内できるように準備</p>		筆記用具
第6回	<p>・カルテ確認 ・実習の受け方確認 ・zoom機器の接続</p>		筆記用具
第7回	<p>【治療中】 ・zoom撮影</p>		筆記用具
第8回	<p>・補助 ・質疑応答</p>		筆記用具
第9回	<p>【治療後】 ・質疑応答</p>		筆記用具
第10回	<p>・レポート作成 ・片付けと衛生管理</p>		筆記用具
第11回			筆記用具
第12回			筆記用具
第13回			筆記用具
第14回			筆記用具
第15回			筆記用具
第16回			筆記用具

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第17回		筆記用具
第18回		筆記用具
第19回		筆記用具
第20回		筆記用具
第21回		筆記用具
第22回		筆記用具
第23回		筆記用具
実務経験と本講義との関連について		
<p>鍼灸師として四元鍼灸接骨院で6年間、並行して敬心鍼灸院で5年間、蓬治療所にて5年間、NITTコンディショニングチーフトレーナーとして5年間の臨床経験をもとに実習を行う。</p>		
メールアドレス		
y.watanabe@nihonisen.ac.jp		